

審 議 経 過

No. 1

<p>(1) 開会</p>	
<p>(2) 報告事項</p> <p>①再生可能エネルギー導入目標等の策定について</p>	
	<p>[ ①について事務局から説明 ]</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。それでは、ただいまの件でご質問あるいはコメント等よろしくお願ひします。</p>
委員1	<p>現在、遊休地や畑などに太陽光発電が設置されていますが、設置する際に伊万里市の場合は必ず地元あるいは市の許可が必要になっていると思います。制度が締結されて以降、地元あるいは市の許可を経て設置をされた太陽光発電はありますか。</p>
事務局	<p>令和2年3月に伊万里市自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例を制定しました。条件として、1,000平米以上の太陽光発電を設置する場合、地元住民に対して説明会を実施した後に市に届出を行い、市長が同意をするという流れになります。</p> <p>正確な数字は手元にはありませんが、令和2年度の制度締結から現在までに10件から15件程度、市長の同意を得て事業を実施している例があります。</p>
会長	<p>再生可能エネルギーは総論としては非常に好ましいが、近所に大型の太陽光パネルや陸上風力などが設置されると色々と不都合な面も出てきて、各論で反対という場合もあります。地元とのすり合わせはとても大切であり、そういった意味でも令和2年に施行された条例は非常に重要なものだと思います。</p> <p>その他ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>

委員2	<p>資料8ページにある温室効果ガス排出量の推計の中で、温室効果ガスの排出量が2013年の677.6千トンから2020年の497.8千トンに減少しているが、対策を講じずに減少しているのには何か理由はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>主に排出係数の低い電力を使用していることが、近年、温室効果ガスの排出量が減少傾向にあることの大きな理由となります。</p>
委員2	<p>理由としては排出係数の低い電力である原子力を使ったり、排出係数の高い石炭やガスなどの使用が減少したりしたからということになると思いますが、石炭やガスからの転換はまだまだ行っており、それでもこれだけ減少しているということでしょうか。それとも、東日本大震災以降、現在も原子力発電所が稼働してないところが非常に多いですが、この2020年から2030年の10年間は減少幅が少ない推計となっているのは、その影響があると考えてよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>2020年までの推計に関しては7ページの方で部門ごとに色分けしており、2013年から2020年までの変化を1年ごとに示している図になります。</p> <p>産業部門に関しては、石炭や石油由来の熱量を使用している工場や製造業の割合が多く、2013年からはあまり変化がありません。</p> <p>運輸部門に関しても、基本的にはガソリンや軽油を使用している分野になるため、2013年と2020年はあまり差がないように見えるかと思います。</p> <p>2013年と2020年を比較した場合、減少している分野としては業務その他部門と家庭部門になります。この2部門に関しては基本的に電気の使用量が主なものを占めており、電気の排出係数の減少が大きくなっています。</p> <p>2020年までの推計に関しては、九州の地方では基本的に九州電力の排出係数を使用しており、中国地方では中国電力、関東地方では東京電力の排出係数を使用します。九州電力は全国的に見ても原子力発電所の稼働もあり、電力の排出係数がとても低くなっています。基準に関しても、直近年度も低くなっているため、そういった電力会社の取り組みも今回の2020年の減少に大きく関わっていると思います。</p>
委員2	<p>九州電力は他とは違い、原子力発電の稼働があるから排出係数が減少しているということですか。</p>

事務局	<p>その通りです。</p> <p>2020年、2030年以降に関しては、2030年に電力会社全てで、全国的に0.25の排出係数を目標にしたエネルギーの計画があり、2030年に関しては九州電力に限らず、全国的に電力係数は0.25を達成した場合で推計をしています。2040年、2050年も基本的には2030年のままの推計になっています。</p> <p>伊万里市に関しては、工場なども増えており、基本的には現状のまま2030年2040年、2050年も製造業の生産が維持されると思われます。</p> <p>また、人口については2050年に若干の減少が見込まれており、8ページの現状趨勢ケースに関しては、基本的には人口の減少によるマイナス分になります。例えば、家庭部門に関しても、世帯数の減少によるマイナス分であり、運輸部門に関しても、基本的に1軒に1台以上車を持っていても、人口減に合わせて車の台数が少し減るというところを積み上げた形の現状趨勢ケースということになります。</p>
委員2	<p>家庭部門は人口減少や九州電力の係数の関係だと思いますが、産業部門というのは削減できれば、ものすごく効果的だと思います。</p> <p>国や自治体も含めて、どのような形で削減効果や政策を持つていくのかというのは非常に難しいところだと思います。趨勢ケースがあまりにも下がりすぎており、ここまで見込めるのかということもあります。</p> <p>例えば、カーボンクレジットのようなものを入れれば、他で対策はできるという考え方なのでしょうけど、あまりやりすぎると本来やるべき産業部門や家庭部門で厳しい状況が生まれると思います。カーボンクレジットについては1つの方策としては考えなくてはいけないと思いますが、産業部門と家庭部門で地道にしっかりとやっていただきたいと思います。</p> <p>また、10ページにある導入目標は右肩上がりになっていますが、基本的には2025年から10年間ぐらい国の政策もあり、急激に導入目標が上がり、そのあとは緩やかになるというふうな目標が本来の形だと思います。10ページのような右肩上がりの目標を挙げたときは失敗するケースが多いため、対策をしたときにこのカーブが少し上がるような形をとっていただきたいと思います。</p> <p>太陽光のFIT制度についても、10年間は余剰電力の買取価格が国によって保障されていますが、現状の制度では10年ごとに波が出てくるということになります。そのあたりも加味をしていただければと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ぜひ、市政施策に反映していただきたいと思います。</p> <p>かなり九州電力の実績が反映されているとのことでしたが、例えば7ページの2017年から18年、19年あたりの温室効果ガス排出量のグラフ見ると、ちょうど2018年で減少しています。玄海原子力発電所の再稼働が2017年から2018年頃です。原子力発電由来の効果がここで出ているように見えますが、すでに2017年までにも減少しており、様々な効果により減少していると思います。ぜひ、今回ご指摘された内容も含めてご検討をしていただければと思います。</p> <p>その他ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>
<p>委員3</p>	<p>主婦の立場で家庭というところに目をやった時に、先日のワークショップやアンケートの結果をどのように生かしていくのかどこにも記載がありません。ただ人口減少で車の数が減り、その分、家庭の二酸化炭素削減になるということではなく、努力するという部分について知りたいです。</p> <p>国の地球温暖化対策実行計画っていうのが12ページにあります。市民一人ひとりの心に削減ということを植えつけるための施策が何もないように思います。</p> <p>市主導で、国の施策とは別に日々の活動としてやって欲しいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の令和5年度のものに関しては、色々なデータをもとに削減目標や再生可能エネルギーをどのくらい導入しようかという目標の策定を一番の目的として取り組んでいます。</p> <p>実際、市民や事業者の方々がどう行動すればよいかに関しては来年度に計画を策定するため、環境審議会の委員の皆さまのご意見や市民アンケートを基に進めていきたいと考えております。</p> <p>今回の市民アンケートでも様々な意見をいただき、違った視点や新たな気づきもあり、来年度の計画に反映させようと考えています。</p> <p>日々の取り組みについては、ごみの削減やゼロカーボンアクション30について広報紙やホームページに掲載し啓発しているほか、グリーンカーテンコンテストを開催したり、地域の緑化活動の補助を行ったりするなどの取り組みを行っています。このように市民一人ひとりが地球温暖化対策への意識を持ち行動していけるように、今後とも啓発活動に力を入れていきたいと考えています。</p>

会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>例えば、資料4ページのワークショップでも問題点や課題が抽出され、それに対する解決策や効果などが提言されています。伊万里市のこれからを担う若者が真剣に考えた意見や成果を生かす形で進めていただき、この審議会が出た意見も同様、来年度の地球温暖化対策実行計画に反映させてほしいと思います。</p>
委員4	<p>資料10ページに市内での消費エネルギーのうち、電力分については2050年までにすべて再生可能エネルギーでまかなう目標を設定するとあるが、伊万里市の場合は全て太陽光エネルギーになるのですか。</p>
事務局	<p>決まってはいませんが、太陽光発電を中心に進めていきたいと考えています。</p>
委員4	<p>9ページの導入ポテンシャルと目標値を見た時に本当に実現可能な目標なのかなと思いました。そのあたりの実現可能性も今後検討していかないと言葉だけが独り歩きしてしまうのではないかと思います。</p>
委員5	<p>10ページのこの電力の部分は、原子力発電を含んでいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>2050年の電力の電源についてはまだ国の方針も出ていません。2030年に関しては原子力発電も再生可能エネルギーも含めた形で国がバランスをとるようになっていますが、2050年についてはまだ方針として出ていないため、10ページに示している2050年のエネルギー消費量に関しては、例えば電気自動車が100%普及した場合や産業部門でも様々な省エネ機器の導入が進み、石油の置き換えやメタン導入の現実化、炭素の固定が進むというような将来的な技術革新も含めた上で、伊万里市ではこれぐらいのエネルギーが必要になるというような推計をしています。</p> <p>原子力発電も含めたものにはなりますが、再生可能エネルギーも電源として含んだ計算になると思います。</p>
会長	<p>原子力発電所は当分増設しないと思います。今から合意を得て、建設を開始しても2050年にも間に合いません。</p>

	<p>例えば、蛍光灯をLEDに変えるだけでも相当電力消費が少なくなります。佐賀県は家庭用太陽光住宅用の太陽光パネル設置率が高く、全国でも上位3位ぐらいに入っています。</p> <p>しかも、家庭用太陽光パネルは昼間に発電したものを売電しており、それを売電せずに蓄電池で効率よく貯めることができれば、その一軒家で蓄電したものを夜使うことで非常に効率よく回ります。</p> <p>技術革新は非常に進んでおり、現在電気自動車も普通の家庭用の3日分ぐらいの電源を賄えるぐらいのバッテリーを持っており、それを有機的に使うことで全体のエネルギー消費を下げるのが可能です。しかし、明確な目標を立てて、実行していかないとこれだけの目標を達成するのは容易ではないので、まずは地球温暖化対策の実行計画を策定し、数年後にはまた見直すというプロセスが必要かと思います。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p>
委員6	<p>太陽光発電を家庭で設置する場合かなり高額ですが、補助金制度の導入などは考えていますか。</p>
事務局	<p>検討する必要があるとは考えていますが、現在は計画しておりません。来年度、国の補助金を活用して佐賀県が太陽光発電や蓄電池の補助を行うといった情報が入ってきています。まだ決定はしていないため、決まり次第、広報等で周知をします。市としてもそちらの活用を進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。その他ご意見ご質問ありましたらお願いします。</p>
委員7	<p>資料6ページのアンケートの回収率についてですが、2,000名中525名とありますが、回収できた年代やどんな人がどんなことに関心があったかについて検討していただいたのかを知りたいです。</p> <p>また、事業者の回収率が低いため、もっと協力いただけるような内容のアンケートを出された方がよかったのではないかと思います。</p>
事務局	<p>年齢の比率についてですが、18歳から29歳までが5.6%、30歳代が9.2%、40歳代が12.6%、50歳代が16.3%、60歳代が24.5%、70歳以上が31.8%と高齢者の回収率がいいという結果になっています。</p>

<p>会長</p>	<p>回収率については、決して多くはありませんでしたので、来年度の区域施策編を策定する上では、さらにパブリックコメントをしながら市民の方のご意見等を踏まえ、策定したいと考えています。</p> <p>事業所の回収率については、事業所側も何をしたらいいか分からないとの意見が多数寄せられましたので、今後は市の方から様々な提案ができるように進めていきたいと考えています。その一つとしまして、来年度は省エネ診断という補助金事業を考えています。省エネ診断とは、省エネ診断士に事業所内の省エネを進めるためにはどうすればよいか診断していただく取り組みで、この診断の利用に対して補助金を交付するという事業です。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>アンケートについては、前回の当審議会で原稿に目を通してもらい、もう少し読みやすくするなどの改善策を出していただきました。改善策に基づき、アンケートとして使いましたが、回収率を上げるためには回答期間を長くしたり、年末の繁忙期を避けたりという対策も必要だと思います。今後、同様の機会がありましたらぜひ検討していただきたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは再生可能エネルギー関係は以上でよろしいでしょうか。</p>
<p>(3) その他</p>	
<p>会長</p>	<p>株式会社伊万里グリーンパワーの事業計画主要燃料変更に伴う環境対策についてということで、事務局の方からご説明をお願いいたします。</p> <p>[ その他について事務局から説明 ] (事務局にて委員にPKSを配布)</p>
<p>会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>前回の当審議会で指摘しまして、改善策を打ち出していただきましたがいかがでしょうか。</p>
<p>委員8</p>	<p>線状降水帯などで長期間雨が降り続いた場合匂いはするのでしょうか。また、視察先は民家から離れているとのことですが、実際に伊万里に持ってきた</p>

<p>事務局</p>	<p>ときは少し心配に思いますがどうでしょうか。</p> <p>大雨時の対策としてカバーをかけることを徹底されるとのこと。雨が降ってから、カバーをかけるのではなく、雨が予想される時は雨が降る前にカバーをかけることを徹底するということでした。</p> <p>住宅との距離については、伊万里の場合は塩屋区にかなり近いということもあり、住民説明会の際も住民の方からそのような懸念の声もありました。事業者の方にも住民の声を伝え、対策を講じてもらうようお願いをしました。その対策というのが、燃料の含水率を通常20%で管理するものを15%で管理したり、燃料の保管期間を短縮し、早めに使い切ったりと他の発電所よりも厳しい運用をするということで報告を受けました。以上の対策が守られているか、市としても監視を行いたいと考えています。</p> <p>また、民家が近くにある発電所が大牟田市にありますので、そちらも視察し、発電所の運用方法や臭気について確認し、事業者に対策を講じるように求めたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ブルーシートでカバーするというのは簡単なことですが、非常に効果的な改善策だと思います。ただし、トラックで運搬している際にトラックにちゃんとカバーをしているかどうかで大きく変わると思います。</p> <p>今手元にPKSの見本がありますが、感触でだいたい15%以下ぐらいの含水率だと思います。事務局のほうで水に浸して1~2週間置いてみてください。</p> <p>サイクルでいうと2週間程で全部燃やし尽くすわけですが、例えば運搬のときに濡れて、それで1週間後どれぐらい悪臭が出るのか見ておくと分かります。</p> <p>事業者も当初は甘いところがありましたが、前回の審議会での指摘を受け、カバーをしたり、万が一悪臭が発生した場合は消臭剤を散布したりと対応を考えていますのでまずまずかなと思います。</p> <p>消臭剤についても廃棄物処理施設関係で使用しているものを使用することで成分は悪いものではないので、良いかと思います。</p> <p>まだ机上の計算に終わっているものもありまして、例えば12トンダンプカーで104台、8日間で計算すると確かに1万トン程になりますが、単なる机上の電卓計算です。12トンダンプカーに12トン乗るかというに乗らないと思います。こ</p>



<p>会長</p>	<p>のことを事業者が理解しているのか怪しいですので、事業がスタートしてから、市の方でも時々視察に行き、状況を見てもらった方がいいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>袋を開けて匂いを嗅ぐと何とも言えない臭いがします。視察の際もトラックから風向きによっては匂いがするとのことでしたが、同じような匂いでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>視察時は今よりも含水率が高いこともあり、視察時のほうが匂いは強いですが、匂いの種類で言うと同じような匂いです。</p>
<p>会長</p>	<p>現段階ではあまり問題ないですが、濡れた時にどうなるかですね。事務局で濡らして30度くらいで日が当たるような場所に置いてみてください。</p>
<p>会長</p>	<p>その他の伊万里グリーンパワーの事業計画変更に伴う環境対策についても終了をさせていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。事務局の方にお返しします。</p>

(4) 閉会

<p>事務局</p>	<p>議事録につきましては、事務局で作成したものを、会長に確認いただいた後に、市のホームページで公開する予定としております。</p> <p>委員の皆様の個人名などは記載いたしませんので、ご了承をお願いいたします。</p> <p>本日は貴重なご意見をいただき本当にありがとうございました。</p> <p>身の引き締まるご意見も頂戴しまして、引き続き環境行政の推進に努めて参りたいと思います。</p> <p>来年度は環境基本計画の諮問ということで、お願いしたいと考えていますので、また来年度もよろしくお願ひします。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度第2回伊万里市環境審議会を閉会します。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
------------	---